

感覚運動医学講座 皮膚科学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	長谷川 稔	平成25年6月-
准教授	尾山 徳孝	平成30年4月-
講師	飯野 志郎	平成18年10月-平成18年12月, 平成24年4月-(平成29年8月-現職)
助教	井戸 英樹	平成16年8月-平成17年9月, 平成20年10月-
助教	知野 剛直	平成26年4月-
助教	加藤 卓浩	平成31年4月-令和3年4月
助教	馬場 夏希	令和3年12月-

2. 研究概要

研究概要

1) 全身性強皮症の臨床研究と新規治療法の開発

全身性強皮症（以下、強皮症と略）は、線維化、血管障害を特徴とする膠原病であるが、厚生労働省の難病に指定されており、治療法が十分に確立されていない。このため、当教室では患者の臨床データの多施設レジストリの中心施設となって予後やその予測因子の解析を進めたり、臨床試験による新規治療の開発に貢献する一方で、強皮症の動物モデルを用いて新規治療の探索を続けている。

・国内の10の専門施設で7年間にわたって前向きにデータを蓄積した発症早期の強皮症の自然経過をまとめ、国際リウマチ雑誌に報告した。この結果は、日本人の強皮症重症例の長期の臨床経過を明らかにした初めての報告であり、その臨床的意義は大きい。また、厚生省の研究班のメンバーを中心に今回新たなレジストリを国内の多施設で立ち上げ、当教室が中心となってその集積、解析を行っている。

・強皮症の早期重症例に対する抗CD20抗体（リツキシマブ）の有用性を検討する医師主導型の臨床試験が、AMEDの支援のもとに、当教室を含む国内の4施設で行われた。その結果、本治療が強皮症の皮膚硬化や間質性肺炎の治療に有用であることが明らかとなり、その成果をLancet Rheumatolに発表し、国際的にも大きな反響がみられた。これを受けて、本治療が国内で承認されて、実際に使用可能となった。

・ケモカインを標的とした抗体治療 以前に2種類の強皮症のマウスモデルにおいて、ケモカインCX3CL1を阻害するモノクローナル抗体投与による治療効果を明らかにし、リウマチ研究のトップジャーナルに報告し、プレスリリースを行った。さらに、別の強皮症モデルである皮膚硬化型慢性GVHDマウスモデルにおいても本抗体治療の有用性を検討している。このモデルでは、皮膚だけでなく、肺にも強皮症にみられるような線維化が生じるが、抗CX3CL1抗体治療は皮膚や肺の炎症や線維化を用量依存性に有意に抑制した。また、その機序についてもRNAシークエンスなどを用いて解析し、CX3CL1の受容体を発現するマクロファージや炎症・線維化と関連するサイトカインの組織での発現抑制を介して作用することが明らかとなった。この成果は、欧州と国内で開催された国際学会で口演発表に選出された。現在論文投稿準備中であり、我々の3種類の疾患マウスモデルでの有用性を根拠として、今後は実際の強皮症患者の臨床試験に発展させたい。

・上皮間葉移行を抑制する薬剤による新規治療 強皮症では、線維芽細胞だけでなく、血管内皮・周皮細胞、上皮細胞、脂肪細胞、骨髄由来のfibrocyteなどの前駆細胞が線維芽細胞などの間葉系細胞に移行して線維化が促進する可能性が指摘されている。我々は独自の手法により、上皮細胞が間葉系細胞に移行する系を阻害する薬剤を1200種類以上の化合物の中からスクリーニングした。そして、そのひとつでクルクミン誘導体である化合物LG283の有用性をプレオマイシン誘導性強皮症マウスモデルやヒト線維芽細胞を用いて検討した。LG283の連日内服により皮膚硬化は有意に抑制され、特に副作用もみられなかった。LG283は、TGF- β による皮膚線維芽細胞からのコラーゲンやファイブロネクチンの産生を抑制した。また、上皮細胞や血管内皮細胞にTGF- β を添加して間葉系細胞への移行を誘導する検討において、LG283の添加は間葉移行を抑制した。本研究成果は、欧州の国際学会で口演、国内の国際学会でプレナリー口演に選出され、リウマチ研究の一流国際雑誌に掲載された。他にも同様のスクリーニング法で抽出した市販薬のひとつが、プレオマイシン誘導性強皮症マウスモデルの炎症や線維化を有意に抑制することを認めており、その機序について検討を進めている。我々の独自のスクリーニング法が、全身性強皮症をはじめとする線維化疾患の治療薬の開発に有用と考えられる。

・カルバイン阻害薬による新規治療 細胞内Ca²⁺要求性プロテアーゼであるカルバインファミリーは、その生理活性が様々な疾患の病態に關与することが知られている。カルバイン阻害薬は、マウスにおいて肺線維化、皮膚の癩癩形成、血管障害などを軽減したことを報告があり、強皮症の線維化、血管障害の治療薬として有用な可能性がある。カルバイン阻害薬のひとつであるALLNを培養ヒト皮膚線維芽細胞に添加したところ、TGF- β によるSmad2/3のリン酸化が阻害され、コラーゲンやファイブロネクチンの産生が抑制された。そこで、プレオマイシン誘導性強皮症モデルに腹腔内注射を行うと、皮膚の炎症や線維化が有意に軽減した。本研究成果は、米国と国内で開催された国際学会において口演に選出され、論文投稿準備中である。カルバインを標的とした治療薬はいまだ承認されたものがないが、全身性強皮症などの線維化疾患の治療薬としての有用性をさらに検証する予定である。

2) 表皮に発現する蛋白デルモカインの役割の検討

我々は、表皮の上層に特異的に発現する分泌蛋白であるデルモカインの役割に関して、デルモカイン β/γ 欠損マウスとデルモカイン $\alpha/\beta/\gamma$ 欠損マウスを作成して検討してきた。その結果、デルモカインは皮膚の正常な角化や乾癬などの病態の炎症制御など皮膚の恒常性維持に重要であることが明らかとなり、皮膚科学研究で最も権威のある国際雑誌に掲載され、プレスリリースを行った。その後は、医学部の学生がこのプロジェクトを引き継ぎ、皮膚アレルギー性疾患におけるデルモカインの役割に関する検討を進めている。

3) 陰部皮膚カンジダ症に対する抗真菌剤含有石鹸の洗浄による治療

オムツ着用部位の皮膚カンジダ症の治療にミコナゾール含有石鹸を用いた洗浄が有用であることを前向き研究で明らかにし、これまでに2つの国際雑誌に発表し、プレスリリースを行った。その後、在宅医療における本治療法の有用性を特定臨床研究として進めており、本治療の有用性を証明することで、国内外の在宅医療に普及させることを目指している。

4) 有棘細胞癌の適切な切除マージンの検討

有棘細胞癌において、ガイドラインで推奨されている切除マージンと、それよりも縮小した切除マージンの手術の間で、予後に違いがみられるかどうかを1204例の多施設共同研究の筆頭著者として解析した。その結果、ガイドライン推奨のマージンを縮小しても、予後に影響しない可能性が示唆された。本成果は、世界最大級の腫瘍関連学会である米国臨床腫瘍学会に採択されて発表し、論文投稿中である。また、顔面の皮膚癌に対する二段階手術療法の有用性を明らかにし、国内で開催された国際学会で発表し、論文投稿中である。

いずれの研究も順調に進んでおり、新たなプロジェクトも発展してきている。

キーワード

強皮症、乾癬、アトピー性皮膚炎、皮膚腫瘍、新規治療、皮膚真菌症、在宅治療

業績年の進捗状況

いずれの研究も順調に進んでおり、新たなプロジェクトも立ち上げている。

特色等

当教室では、膠当教室では、膠原病のひとつで厚生労働省の指定難病のひとつである全身性強皮症を臨床と研究の専門としている。本疾患は、線維化、血管障害を特徴とし、膠原病の中でも最も治療が難しく、予後不良の症例も少なくない。このため、新規治療を開発すべく、臨床研究と基礎研究の両面から検討を行っている。臨床研究では、国内の専門施設に協力いただき、当教室がレジストリのとりまとめを行なって、本疾患の自然経過や予後とそれらの予測因子、治療の動向の把握につとめている。また、新薬の医師主導型臨床試験の成果の一つとして、抗CD20抗体（リツキシマブ）が強皮症の治療薬として国内で承認に至った。基礎研究においては、以下のような3つのアプローチで検討を進めている。1) マクロファージなどの組織への細胞浸潤を誘導するケモカインのひとつであるCX3CL1を抑制する抗体治療、2) 1200種類以上からスクリーニングした上皮間葉移行を抑制する化合物による治療、3) カルバイン阻害薬による治療。強皮症のマウスモデルにこれらの薬剤を投与したところ、線維化や血管障害を抑制する効果が確認され、問題となる副作用はみられていない。将来的には、これらの薬剤を実際の強皮症患者や他の炎症性疾患や線維化疾患に投与する臨床試験へと発展させたい。また、薬剤の作用機序を検討する中で、強皮症の病態を明らかにする手がかりが得られるものと信じている。

もうひとつの研究の大きな柱は、表皮に発現する糖蛋白デルモカインの役割の解明である。我々は、その役割をより明らかにするためにデルモカインの欠損マウスを世界に先駆けて作製し、その表現型を解析した。このマウスでは皮膚の保湿に重要なセラミドが減少し、角化と関連する様々な分子の発現に生じるため、毛が生えてくるまでは魚鱗病のようなかさかさした皮膚を呈し、魚鱗病などの角化異常疾患のモデルや病態解析に有用と考えられる。また、このマウスに代表的な皮膚炎症性疾患であるアトピー性皮膚炎、乾癬、接触皮膚炎などのモデルを誘導すると、乾癬のモデルでのみ野生型マウスに比べて悪化がみられた。このように、デルモカインは角化やバリア機能異常のみならず、免疫担当細胞にも作用して特定の炎症の抑制に作用しているものと考えられた。本研究は、皮膚の角化異常や炎症性疾患におけるバリア機能と免疫異常とのクロストークの解明の一助になると思われる。当教室はデルモカインの研究では世界のトップを走っており、デルモカインの発現を促進するような治療が、将来的に実際の乾癬患者に有用となる可能性を秘めており、臨床的な意義も大きい。

本学の理念との関係

当教室では、専門分野における最先端の臨床研究・基礎研究を推進しており、その研究成果を皮膚科学やリウマチ学の国際的なトップジャーナルに発表し、プレスリリースや記者説明会などで報告してきた。また、これらの研究を通して、地域、国、国際社会に貢献できる若手研究者の育成を行い、国際学会などでの報告も多い。研究の大半は、市販されていない治療薬や独自に作製した遺伝子欠損マウスを用いた独創性の高いものであり、難治性の皮膚疾患やリウマチ疾患における最新治療の開発に結びつくものである。これらのことから、当教室での研究内容は本学の理念によく合致したものであり、その意義は大きいと考える。

3. 研究実績

区分	総数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2015～2020年分	2021年分	2015～2020年分	2021年分
和文原著論文	29	4	—	—
英文論文	ファーストオーサー	28	72.381(69.078)	14.55(14.55)
	コソボ ディング オサー	27	70.96(67.657)	16.044(16.044)
	その他	32	116.563(108.625)	15.052(15.052)
	合計	63	194.918(183.677)	31.096(31.096)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2133196

Okamura S, Oyama N, Hasegawa M.: The First Case Report of Multiple Familial Trichoepitheliomas Responding Successfully to Topical Benzoyl Peroxide: A Possible Therapeutic Action Underlying Structural Turnover and Antiinflammation., *Indian J Dermatol.*, 67(1), 67-68, 202201, DOI: 10.4103/ijid.ijd_1136_20 (症例報告), #1.494

2133197

Nakamura Y, Namikawa K, Yoshikawa S, Kuniwa Y, Maekawa T, Yamasaki O, Isei T, Matsushita S, Nomura M, Nakai Y, Fukushima S, Saito S, Takenouchi T, Tanaka R, Kato H, Otsuka A, Matsuya T, Baba N, Nagase K, Inozume T, Fujimoto N, Kuwatsuka Y, Onishi M, Kaneko T, Onuma T, Umeda Y, Ogata D, Takahashi A, Otsuka M, Teramoto Y, Yamazaki N.: Anti-PD-1 antibody monotherapy versus anti-PD-1 plus anti-CTLA-4 combination therapy as first-line immunotherapy in unresectable or metastatic mucosal melanoma: a retrospective, multicenter study of 329 Japanese cases (JMAC study)., *ESMO Open.*, 6(6), 100325, 202112, DOI: 10.1016/j.esmoop.2021.100325, #6.54

2133198

Samotij D, Szczech J, Antiga E, Bonciani D, Caproni M, Chasset F, Dańczak-Pazdrowska A, Furukawa F, Hasegawa M, Hashizume H, Ikeda T, Islam A, Kim HJ, Lesiak A, Misery L, Mowla MR, Polanska A, Szejtowski JC, Tsuruta D, Verdelli A, Werth VP, Reich A.: Clinical characteristics of itch in cutaneous lupus erythematosus: A prospective, multicenter, multinational, cross-sectional study., *Lupus.*, 30(9), 1385-1393, 202108, DOI: 10.1177/09612033211016098, #2.911

2133199

Satoshi Ebata, Ayumi Yoshizaki, Koji Oba, Kosuke Kashiwabara, Keiko Ueda, Yukari Uemura, Takeyuki Watadani, Takemichi Fukasawa, Shunsuke Miura, Asako Yoshizaki-Ogawa, Yoshihide Asano, Naoko Okiyama, Masanari Koderu, Minoru Hasegawa, Shinichi Sato.: Safety and efficacy of rituximab in systemic sclerosis (DESIRE): a double-blind, investigator-initiated, randomised, placebo-controlled trial., *Lancet Rheumatol.*, 3(7), e489-e497, 20210701, DOI: 10.1016/S2665-9913(21)00107-7, #8.136

2133200

Yoshida Y, Oyama N, Iino S, Shimizu C, Hasegawa M.: Long-standing refractory hidradenitis suppurativa responded to a brodalumab monotherapy in a patient with psoriasis: A possible involvement of Th17 across the spectrum of both diseases., *J Dermatol.*, 48(6), 916-920, 202106, DOI: 10.1111/1346-8138.15807, #4.005

2133201

Hasegawa T, Iino S, Kitakaze K, Kato T, Kabata D, Oyama N, Hasegawa M.: Repigmentation of aging gray hair associated with unrecognized development and progression of amelanotic melanoma of the scalp: A physiological alert underlying hair rejuvenation., *J Dermatol.*, 48(6), e281-e283, 202106, DOI: 10.1111/1346-8138.15881, #4.005

2133202

Nishimura K, Oyama N, Sekine S, Shimizu C, Hasegawa M.: Spontaneous regression of long-standing bilateral nevoid hyperkeratosis of the nipple and areola in a young female: A case report., *J Dermatol.*, 48(4), e188-e189, 202104, DOI: 10.1111/1346-8138.15796 (症例報告), #4.005

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

2133203

Utsunomiya A, Luong VH, Chino T, Oyama N, Matsushita T, Ishii N, Ogasawara H, Imai T, Hasegawa M.: Blockade of CX3CL1-CX3CR1 pathway inhibits mouse sclerodermatous chronic graft-versus-host disease model, The 46th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology プログラム, 229-229, 202112

2133204

Kasamatsu H, Chino T, Hasegawa T, Utsunomiya N, Utsunomiya A, Oyama N, Yamada M, Hasegawa M.: A calpain inhibitor ALLN attenuates bleomycin-induced skin fibrosis in a mice model, The 46th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology プログラム, 230-230, 202112

2133205

Utsunomiya A, Luong VH, Chino T, Oyama N, Matsushita T, Ishii N, Ogasawara H, Imai T, Hasegawa M.: Anti-fractalkine monoclonal antibody therapy ameliorates murine sclerodermatous chronic graft-versus-host disease, *J Invest Dermatol.*, 141(10), S149, 202110, #8.551

2133206

Iino S, Baba N, Hasegawa T, Kasamatsu H, Oyama N, Hasegawa M.: Retrospective evaluation of the effectiveness of two-step surgery for facial non-melanoma cutaneous malignancies, ACDS2021プログラム・抄録集, 63-63, 202105

2133207

Utsunomiya A, Chino T, Oyama N, Niwa S, Hasegawa M.: A curcumin-derivative LG283 that inhibits TGF-β/Smad/Snail-dependent mesenchymal transition ameliorates bleomycin-induced skin fibrosis and vascular injury, *J Invest Dermatol.*, 141(5), s82, 202105, #8.551

2133208

Kasamatsu H, Chino T, Hasegawa T, Utsunomiya N, Utsunomiya A, Oyama N, Yamada M, Hasegawa M.: A calpain inhibitor ALLN alleviates bleomycin-induced skin fibrosis via antagonizing TGF-β/Smad signaling pathway, *J Invest Dermatol.*, 141(5), s81, 202105, DOI: 10.1016/j.jid.2021.02.490, #7.59

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

2133209

長谷川 稔: 自己抗体の読み方: 佐藤伸一 藤本 学 門野岳史 柁島健治: 今日の皮膚疾患治療指針 第5版 Today's Therapy in Dermatology, 医学書院, 177-179, 20220301, 978-4-260-04593-3

2133210

長谷川 稔: 限局性強皮症: 福井次矢 高木 誠 小室一成: 今日の治療指針 私はいこう治療している2022年版, 医学書院, 1299-1300, 20220101, 978-4-260-04776-0

2133211

長谷川 稔: 硬化性苔癬: 藤本 学: 皮膚科ベストセクション 皮膚科 膠原病 皮疹から全身を診る, 中山書店, 249-251, 20210510, 978-4-521-74862-7

2133212

長谷川 稔: 全身性エリテマトーデス: 高橋健造, 佐伯秀久: 皮膚疾患 最新の治療 2021-2022, 南江堂, 91-94, 20210425, 978-4-524-22799-0

2133213

尾山徳孝, 長谷川 稔.: 環状紅斑 / Erythema annulare (アップデート版): 池田 展一, 柁島 健治: 今日の疾患辞典 Current Decision Support, プレシジョン, web, 20210401

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2133214

藤崎 美沙子, 内田 沙織, 笠松 宏至, 宇都宮 慧, 尾山 徳孝, 山村 健太郎, 長谷川 稔: 無治療で症状が改善した好酸球性蜂窩織炎(Wells症候群)の1例, 皮膚科の臨床, 64(1), 86-90, 202201, DOI: 10.18888/hi.0000003055 (症例報告)

2133215

岡村 咲由莉, 馬場 夏希, 八代 浩, 長谷川 義典, 矢野 泰弘: 人間ドックのPET-CTで発見されたマンソン孤虫症の1例, 皮膚科の臨床, 63(5), 702-705, 202105 (症例報告)

2133216

長谷川 巧, 飯野志郎, 北風光平, 加藤卓浩, 尾山徳孝, 長谷川 稔, 加畑大輔: 黒毛が腫瘍の進展と治療効果を反映した頭部悪性黒色腫の1例, 日本皮膚外科学会誌, 25, 62-63, 202105 (症例報告)

2133217

八代 浩, 関根史織, 長谷川義典, 馬場夏希: 下肢静脈瘤にて紹介されたが、下肢超音波検査を契機に肺血栓塞栓症が見つかった3例, 日本皮膚外科学会誌, 25, 32-33, 202105 (症例報告)

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

2133218

長谷川 稔, 吉崎 歩, 佐藤伸一: 強皮症の新規治療, ラジオNIKKEIマルホ皮膚科セミナー, 275, 4-14, 20220131

2133219

長谷川 稔: 私の視点 膠原病が専門の皮膚科医, 皮膚病診療, 43(9), 855-855, 20210901, DOI: 10.24733/pd.0000002610

2133220

長谷川 稔: それって膠原病? 強皮症と皮膚筋炎, 日本臨床皮膚科医会雑誌, 38(4), 535-537, 20210715

2133221

長谷川 稔: 指定難病最前線 (Volume 120) 全身性強皮症, 新薬と臨床, 70(5), 532-535, 20210510

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

2133222

Iino S, Baba N, Hasegawa T, Kasamatsu H, Oyama N, Tokunaga T, Hasegawa M: Retrospective evaluation of two-step surgery for facial non-melanoma skin malignancies, The 12th AsianDermatological Congress (ADC), 20220804, プログラム・抄録集, 126

2133223

Masaki K, Haruta J, Hyakutake M, Sakashita M, Ogawa Y, Inomata T, Kan-o K, Sato S, Nakajima S, Fukushima A, Morita H, Kanzaki S, Fukunaga K, Ishizuka T, Oyama N, Kidoguchi M, Yasutomi M, Adachi T: Formation of an Interdisciplinary and Multidisciplinary Learning Community for Allergology Education, The 54th Annual Meeting of the Japan Society for Medical Education, 20220805, プログラム・抄録集, 137

2133224

Utsunomiya A, Chino T, Oyama N, Niwa S, Hasegawa M.: A curcumin-derivative LG283 that inhibits TGF- β /Smad/Snail-dependent mesenchymal transition ameliorates bleomycin-induced skin fibrosis and vascularinjury, 2021 Society for Investigative Dermatology Virtual Meeting, 20210503, プログラム

2133225

Iino S, Baba N, Hasegawa T, Kasamatsu H, Oyama N, Hasegawa M.: Retrospective evaluation of the effectiveness of two-step surgery for facial non-melanoma cutaneous malignancies, 2021日本皮膚外科学会・日本臨床皮膚外科学会合同学術大会 The 6th Asian Congress of Dermatologic Surgery (ACDS2021) (第36回日本皮膚外科学会総会・学術集会 第39回日本臨床皮膚外科学会総会・学術大会), 20210529, プログラム・抄録集, 63

2133226

Nishimura K, Oyama N, Hasegawa T, Kasamatsu H, Chino T, Tokunaga T, Higashi K, Saito K, Yamada K, Hasegawa M: A serum N-glycan profile: a new candidate biomarker for clinical practice of psoriasis, The 12th AsianDermatological Congress (ADC), 20220804, プログラム・抄録集, 154

d. 一般講演（ポスター）

2133227

Kasamatsu H, Chino T, Hasegawa T, Utsunomiya N, Utsunomiya A, Oyama N, Hasegawa M: Antifibrotic effects of a calpain inhibitor ALLN on bleomycin-induced systemic sclerosis model via antagonizing TGF- β /Smad signaling pathway, 51st ANNUAL ESDR MEETING, 20220928, 抄録集

2133228

Utsunomiya A, Luong VH, Chino T, Oyama N, Matsushita T, Ishii N, Ogasawara H, Imai T, Hasegawa M.: Anti-fractalkine monoclonal antibody therapy ameliorates murine sclerodermatous chronic graft-versus-host disease, 50th Annual ESDR Meeting, 20210922, プログラム

2133229

Kasamatsu H, Chino T, Hasegawa T, Utsunomiya N, Utsunomiya A, Oyama N, Yamada M, Hasegawa M.: A calpain inhibitor ALLN alleviates bleomycin-induced skin fibrosis via antagonizing TGF- β /Smad signaling pathway, 2021 Society for Investigative Dermatology Virtual Meeting, 20210503, プログラム

2133230

Kasamatsu H, Chino T, Hasegawa T, Utsunomiya N, Utsunomiya A, Oyama N, Yamada M, Hasegawa M.: A calpain inhibitor ALLN attenuates bleomycin-induced skin fibrosis in a mice model, The 46th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 20211203, プログラム, 230

2133231

Utsunomiya A, Luong VH, Chino T, Oyama N, Matsushita T, Ishii N, Ogasawara H, Imai T, Hasegawa M.: Blockade of CX3CL1-CX3CR1 pathway inhibits mouse sclerodermatous chronic graft-versus-host disease model, The 46th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 20211203, プログラム, 229

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

2133232

宇都宮 慧: 好酸球性筋膜炎・硬化性萎縮性苔癬の診断と治療, 第120回日本皮膚科学会総会, 20210610, 抄録集, 1189

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

- 2133233** 八代 浩、吉田康幸、長谷川義典、馬場夏希：動静脈瘤が原因と考えられた両下肢静脈瘤の1例、第37回日本皮膚外科学会総会・学術集会、20220903、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、46
- 2133234** 宗石依子、尾山徳孝、長谷川 稔：ミノサイクリン内服が皮疹の再発に奏効したgranulomatous periorificial dermatitisの小児例、第45回日本小児皮膚科学会学術大会、20210703、抄録
- 2133235** Kasamatu H, Oyama N, Oku Y, Inoue G, Kimura M, Kanno M, Kawakami T, Ohta H, Yoneshima M, Hasegawa M.: A Rare Case of Fatal Panniculitis Caused by Occult Pancreatic Neuroendocrine Tumor., 第121回日本皮膚科学会総会、20220602、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、1295
- 2133236** 山崎 修、爲政大幾、齋藤晋太郎、大塚篤司、野村基雄、田中 了、松谷泰祐、馬場夏希、藤本徳毅、中村泰大：粘性黒色腫へのPD-1抗体とPD-1+CTLA-4抗体併用の効果比較-JMAC study、第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、20210709、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、133
- 2133237** 宇都宮 慧、知野剛直、宇都宮夏子、尾山徳孝、長谷川 稔：Dermokine を標的とした悪性黒色腫の治療の開発、第120回日本皮膚科学会総会、20210610、抄録集、1429
- 2133238** 八代 浩、関根史織、長谷川義典、岡村咲由莉、：超音波検査が診断に有用であった右母趾爪甲下有棘細胞癌の1例、第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、20210709、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、122
- 2133239** 長谷川 巧、飯野志郎、藤崎美沙子、岡村咲由莉、馬場夏希、尾山徳孝、長谷川 稔、竹内裕子、田中 波、河原謙一：エンコラフェニブ・ビメチニブ併用療法開始翌日までに漿液性網膜剥離症を生じた進行期悪性黒色腫の2例、第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、20210709、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、144
- 2133240** 関根史織、飯野志郎、西村健太郎、岡村咲由莉、笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔：保存的治療に抵抗性の鼻背部肥厚性エリテマトーデスに全層植皮術の併用が奏効した1例、第37回日本皮膚外科学会総会・学術集会、20220903、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、43
- 2133241** 関根史織、八代 浩、長谷川義典、長谷川 巧、飯野志郎、馬場夏希、尾山徳孝、長谷川 稔：後頭部の出血性潰瘍で救急外来を受診した頭部血管肉腫の1例、第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、20210709、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、140
- 2133242** 西村健太郎、飯野志郎、岡村咲由莉、笠松宏至、馬場夏希、尾山徳孝、長谷川 稔、木村純也、樋口翔平、今村好章、福島万奈：右下眼瞼の孤立性腫瘍、第37回日本皮膚病理組織学会、20210410、抄録集、29
- 2133243** 西村健太郎、宇都宮夏子、加藤卓浩、尾山徳孝、長谷川 稔、細野奈穂子、江守裕子：瀉血療法とアルブロスタジル点滴投与により患指を救済できた真性多血症に伴う指尖部動脈塞栓疑いの1例、第51回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会、20211126、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、198
- 2133244** 関根史織、飯野志郎、西村健太郎、岡村咲由莉、笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔、平井行一郎：鼻部肥厚性エリテマトーデスに対し手術治療が奏効した1例、日本皮膚科学会北陸地方会第473回例会、20220220、抄録集、7
- 2133245** 尾山徳孝、宗石依子、山内悠大、知野剛直、長谷川 稔：生物学的製剤抵抗性の関節炎に対して罹患関節付近への皮下注射が奏効した関節症性乾癬の1例、第36回日本乾癬学会学術大会、20210903、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、138
- 2133246** 山内悠大、尾山徳孝、辻 慶明、宇都宮夏子、宇都宮 慧、長谷川 稔、小林麻美子、岩野正之：全身性エリテマトーデスの悪化時に出現し、内服ステロイド増量が奏効した再発性Sweet病の1例、第51回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会、20211126、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、189
- 2133247** 長谷川 巧、飯野志郎、関根史織、北風光平、馬場夏希、尾山徳孝、樋口翔平、今村好章、長谷川 稔：急速に増大し、ドセタキセルと放射線療法が奏効した上唇 infundibulocystic squamous cell carcinomaの1例、第38回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、20220624、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、113
- 2133248** 宗石依子、尾山徳孝、長谷川 稔、榎本崇一、濱野忠則、山村 修：自己免疫性脳炎によるプロダルマブの中断で顎関節炎の合併が判明した関節症性乾癬の1例、第37回日本乾癬学会学術大会、20220909、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、169
- 2133249** 宇都宮 慧、長谷川 稔、廣田智哉、岩崎博道、早稲田優子、松下貴史：治療経過中に急性心不全を生じた皮膚筋炎の1例、第65回日本リウマチ学会総会・学術集会、20210426、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、399
- 2133250** 長谷川 巧、尾山徳孝、長谷川 稔：頸部に片側性で線状に分布する角化性丘疹、第38回日本皮膚病理組織学会、20220409、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、11

d. 一般講演 (ポスター)

- 2133251** 宗石依子、尾山徳孝、笠松宏至、長谷川 稔、石田久哉：外用ステロイドと紫外線療法の局所治療で長期寛解を得ているCD8陽性毛包向性菌状息肉腫の1例、第121回日本皮膚科学会総会、20220602、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、1359
- 2133252** Kasamatu H, Oyama N, Oku Y, Inoue G, Kimura M, Kanno M, Kawakami T, Ohta H, Yoneshima M, Hasegawa M.: A Rare Case of Fatal Panniculitis Caused by Occult Pancreatic Neuroendocrine Tumor., 第121回日本皮膚科学会総会、20220602、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、1295
- 2133253** 長谷川 巧、尾山徳孝、長谷川 稔、：治療に難渋しているrelapsing linear acantholytic dermatosis の1例、第120回日本皮膚科学会総会、20210610、抄録集、1397
- 2133254** 宇都宮 慧、福田英美里、宗石依子、尾山徳孝、長谷川 稔：急速に深達性潰瘍を生じた抗MDA5抗体陽性無筋症型皮膚筋炎の1例、第120回日本皮膚科学会総会、20210610、抄録集、1397
- 2133255** 内田沙織：潰瘍性大腸炎に対するTNF- α 阻害薬投与中に生じたBazin硬結性紅斑の1例、第19回日本免疫治療学会学術集会、20220522、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ
- 2133256** 長谷川 巧：全身性強皮症の新規治療法：皮膚硬化型慢性GVHDマウスモデルにおける抗フラクタルカイン抗体の治療効果、第19回日本免疫治療学会学術集会、20220522、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ
- 2133257** 西村健太郎、宇都宮夏子、加藤卓浩、尾山徳孝、長谷川 稔、細野奈穂子、江守裕子：瀉血療法とアルブロスタジル点滴投与が奏効した真性多血症に伴う指尖潰瘍の1例、第49回日本臨床免疫学会総会、20211028、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、109
- 2133258** 西村健太郎、尾山徳孝、関根史織、長谷川 稔、清水千尋：自然消退した小児期発症nevroid hyperkeratosisの1例、第37回日本臨床皮膚科医学会総会・臨床学術大会、20210424、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

2133259 長谷川 稔：皮膚筋炎～最近のトピックス～，第72回日本皮膚科学会中部支部学術大会，20211120，76

2133260 長谷川 稔：エリテマトーデスの治療の進歩，第85回日本皮膚科学会東京支部学術大会，20211113，98

2133261 長谷川 稔：末梢循環障害の診断と治療～全身性強皮症を中心に～，第72回日本皮膚科学会中部支部学術大会，20211120，103

c. 一般講演（口演）

2133262 北風光平、井戸英樹、山内悠大、内田沙織、知野剛直、尾山徳孝、長谷川 稔、加藤幸宣：成人の副鼻腔炎に合併したPott's puffy tumorの1例，日本皮膚科学会北陸地方会第474回例会，20220626，抄録集，5

2133263 長谷川 稔、宇都宮 慧、尾山徳孝：腎部の難治性脂肪織炎に対して多剤併用療法を必要とした抗MDA-5抗体陽性の皮膚筋炎，第78回日本皮膚科学会高知地方会～佐野栄紀教授退任記念～，20220402，抄録集，9

2133264 長谷川 巧、尾山徳孝、長谷川 稔、多賀峰克：転移性尿路上皮癌に対する抗体薬物複合体enfortumab vedotinによる皮膚障害の1例，第86回日本皮膚科学会東部支部学術大会，20220827，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，153

2133265 宇都宮 慧：Hydroxychloroquine (HCQ)による薬疹に対する再投与，第135回福井県皮膚科医会例会，20210729

2133266 山内悠大、長谷川 巧、西村健太郎、尾山徳孝、長谷川 稔、河原謙一：ヒドロキシクロロキンが有効であった網状紅斑性ムチン沈着症の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第474回例会，20220626，抄録集，6

2133267 長谷川 稔、宇都宮 慧、福井玲芽、尾山徳孝：再投与が可能であったヒドロキシクロロキンによる薬疹の2例，第107回日本皮膚科学会群馬地方会 石川 治教授退任記念大会，20210807，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，12

2133268 笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔、大蔵美幸、山内高弘：クリオグロブリン血症性血管炎の発症を契機に診断されたシェーグレン症候群を多発性骨髄腫の1例，第73回日本皮膚科学会西部支部学術大会，20211030，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，142

2133269 内田沙織、清水千尋、三澤利博、藤崎美沙子、関根史織、知野剛直、尾山徳孝、長谷川 稔：インフルエンザHAワクチン接種後に発症した非反復性好酸球性血管性浮腫の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第472回例会，20211212，抄録集，5

2133270 山内悠大、宗石依子、知野剛直、尾山徳孝、長谷川 稔：生物学的製剤抵抗性の関節炎に対し、罹患関節付近への皮下注射が奏効した間接性乾癬の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第472回例会，20211212，抄録集，6

2133271 宮永美紀、飯野志郎、尾山徳孝、長谷川 稔：福井大学で過去10年間に経験した514例の薬疹患者の後ろ向き調査研究，日本アレルギー学会北陸支部第3回地方会，20211128，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，8

2133272 藤崎美沙子、長谷川 巧、尾山徳孝、長谷川 稔、山岡幸司、安齋正樹：COVID-19治療中に発症した遠心性環状紅斑の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第473回例会，20220220，抄録集，6

2133273 川上民裕、薫 宇鶴、沖山奈緒子、小寺雅也、清島真理子、長谷川 稔、山口 由衣：皮膚動脈炎患者における多施設共同の抗ホスファチジルセリン・プロトロンビン複合体抗体測定，第85回日本皮膚科学会東京支部学術大会，20211113，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，185

2133274 北風光平、市橋 匠、笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔：若年女性の肉芽腫性乳腺炎に合併した結節性紅斑の1例，第85回日本皮膚科学会東部支部学術大会，20210918，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，149

2133275 山内悠大、辻 慶明、宇都宮夏子、宇都宮 慧、尾山徳孝、長谷川 稔、小林麻美子、岩野正之：全身性エリテマトーデスに合併したSweet病の1例，日本皮膚科学会北陸地方会第470回例会，20210627，抄録集，9

2133276 関根史織、尾山徳孝、長谷川 稔、井尾浩一、布施田哲也、：周期性発熱と外陰部潰瘍にコルヒチンが奏効したPFAPA症候群疑いの女児例，第137回福井県皮膚科医会例会，20220728

2133277 山内悠大、尾山徳孝、長谷川 稔：片側性の神経分節領域に生じた後天性反応性穿孔性膠原線維症の1例，第85回日本皮膚科学会東京支部学術大会，20211113，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，180

2133278 長谷川 巧、飯野志郎、藤崎美沙子、岡村咲由莉、馬場夏希、尾山徳孝、長谷川 稔、竹内裕子、田中 波、河原謙一：エンコラフェニブ・ビメチニブ併用療法を施工後に漿液性網膜剥離症を発症した進行期悪性黒色腫の2例，日本皮膚科学会北陸地方会第470回例会，20210627，抄録集，11

2133279 長谷川 稔、高嶋 渉、西村健太郎、笠松宏至、宇都宮 慧、尾山徳孝：長期に続く末梢神経障害にIVIgとメボリズマブを併用した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症疑いの1例，秀 道広教授退任記念 日本皮膚科学会第150回広島地方会，20220226，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ，12

2133280 宗石依子、飯野志郎、長谷川 巧、笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔、高橋秀典：Bowen病に合併したMerkel細胞癌の1例：免疫組織学的な検討，第72回日本皮膚科学会中部支部学術大会，20211120，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，147

2133281 宮永美紀、飯野志郎、尾山徳孝、長谷川 稔：福井大学で過去10年間に経験した514例の薬疹患者の後ろ向き調査研究，第72回日本皮膚科学会中部支部学術大会，20211120，ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集，159

2133282 笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔、大蔵美幸、山内高弘：クリオグロブリン血症性血管炎の発症を契機に診断されたシェーグレン症候群と多発性骨髄腫疑いの1例，第136回福井県皮膚科医会例会，20211014

2133283 内田沙織、尾山徳孝、吉田康幸、北風光平、笠松宏至、長谷川 稔：多剤科学療法に抵抗性を示し、プレントキシマブ・ベドチン単独療法が奏効した原発性皮膚未分化大細胞リンパ腫の1例，福島 聡教授就任記念学術講演会演題 日本皮膚科学会 第234回熊本地方会，20220312，抄録集，27

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

業績一覧

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

2133284 長谷川 稔: 膠原病や乾癬性関節炎～皮膚から早期に診断する～, 第51回北海道コラーゲン研究会, 20211023

2133285 長谷川 稔: 膠原病診療の新しい話題, 2021年富山デルマ学術講演会, 20211007

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演(口演)

2133286 山内悠大、辻 慶明、尾山徳孝、長谷川 稔、小林麻美子、岩野正之: 全身性エリテマトーデスの悪化時に出現し、内服ステロイド増量が奏効した再発性Sweet病の1例, 第5回 Skin Disease Research Conference, 20220331, 抄録

d. 一般講演(ポスター)

e. 一般講演

2133287 尾山徳孝: 皮膚科医のアトピー性皮膚炎との付き合い方, アトピー性皮膚炎治療Up to Date, 20210930

2133288 長谷川 稔: アトピー性皮膚炎の治療～変革の時～, Cross Allergic Immunology Web @ 福井, 20210409

2133289 尾山徳孝: バイオ製剤に関わる免疫原性～現状の理解と課題～, これからの乾癬治療を考える, 20211216

2133290 長谷川 稔: 福井大学における強皮症治療について, 福井肺高血圧診療ネットワークWEBセミナー, 20210624

2133291 長谷川 稔: 皮膚からみるエリテマトーデスと乾癬性関節炎, PSAセミナー, 20211218

2133292 長谷川 稔: 膠原病～皮膚病変からの診断と治療～, 第一回皮膚疾患プロフェッショナルセミナー, 20211008

2133293 尾山 徳孝: 福井県内の乾癬治療の病診連携と課題, 乾癬治療を考える会 in Fukui, 20210415

2133294 長谷川 稔: エリテマトーデスの診療～ガイドラインの内容も含めて～, Lupus Erythematosus Expert Seminar, 20210603

2133295 尾山 徳孝: 炎症性皮膚疾患におけるJAK/SSTATシグナル伝達研究の軌跡, JAK Atopic Dermatitis Conference in Fukui, 20210527

2133296 尾山徳孝: アトピー性皮膚炎, 出前授業in福井県「アレルギー疾患に関するベーシックとアドバンス」全6回, 20210910

2133297 尾山徳孝: TAIHO Web Lecture on Dermatology, TAIHO Web Lecture on Dermatology, 20211104

2133298 尾山 徳孝: 乾癬のルーツに迫る, FUKUI Dermatology Seminar, 20210701

2133299 長谷川 稔: 皮膚科医が診る膠原病と乾癬, 大阪皮膚疾患Webセミナー, 20211129

2133300 長谷川 稔: エリテマトーデスと関連した多彩な皮膚症状とその治療, 第3回大阪皮膚科連携セミナー, 20210930

2133301 笠松 宏至: アトピー性皮膚炎, 第4回福井県鼻の日保健大会「戦おう!アレルギーと新型コロナ」, 20210828

2133302 尾山徳孝: 皮膚科医の”アトピー治療との付き合い方”, Atopic Dermatitis Summit in Fukui, 20210916

2133303 長谷川 稔: 膠原病を見逃さないために, CTD Web Seminar, 20210412

f. その他

(C) 特許等

区分	内容(発明の名称)	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研究費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額(配分額)
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額(配分額)
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	悪性黒色腫の病態に関わるdermokineの役割の解明	宇都宮 慧		20210401-20240331	¥1,820,000

業績一覧

文部科学省科学研究費補助金	若手研究	ドラッグ・リポジショニングによる全身性強皮症の新規治療薬の開発	加藤 卓浩		20200401-20230331	¥1,170,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	硬化性萎縮性苔癬における細胞外基質への免疫異常を発端とした新たな癌化機構の解明	宇都宮 夏子		20200401-20230331	¥1,430,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	上皮間葉移行阻害薬は全身性強皮症の新規治療薬となりうるか	長谷川 稔		20190401-20220331	¥1,170,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	全身性強皮症における新たな治療：抗フラクタルカイン抗体の実用に向けて	長谷川 巧		20200401-20230331	¥1,430,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	皮膚癌の微小環境における免疫逃避と進展に関わる細胞外基質の役割の解明	尾山 徳孝		20210401-20240331	¥2,210,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	カルバイン阻害剤による全身性強皮症の新たな治療戦略	笠松 宏至		20200401-20230331	¥1,170,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	株式会社カン研究所	皮膚疾患におけるケモカインの役割の解析	長谷川 稔, 宇都宮 慧, 知野 剛直, 尾山 徳孝	20170401-20230331	¥0
共同研究	住友化学株式会社	皮膚慢性炎症疾患および膠原病に対するバイオマーカーの有用性検討試験	長谷川 稔, 尾山 徳孝, 知野 剛直, 宇都宮 慧, 笠松 宏至, 西村 健太郎	20210115-20211231	¥3,000,000
共同研究	リンク・ジェノミクス株式会社	全身性強皮症治療剤に関する研究	長谷川 稔	20200106-20240331	¥0

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
----	-----	-----	------	------	------

(B) 奨学寄附金

受入件数	21
受入金額	¥10,900,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本リウマチ学会	一般会員	長谷川 稔
日本皮膚科学会	理事	長谷川 稔
日本免疫学会	一般会員	長谷川 稔
日本研究皮膚科学会	評議員	長谷川 稔
日本乾癬学会	評議員	長谷川 稔
日本臨床免疫学会	評議員	長谷川 稔
日本皮膚悪性腫瘍学会	評議員	長谷川 稔
米国リウマチ学会	一般会員	長谷川 稔
米国研究皮膚科学会	一般会員	長谷川 稔
Asian Dermatological Association	Council member	長谷川 稔
Eastern Asia Dermatology Congress	Council member	長谷川 稔
日本小児皮膚科学会	運営委員	長谷川 稔
日本白斑学会	評議員	長谷川 稔
国際ペーチェット病学会	一般会員	尾山 徳孝
日本皮膚科学会	一般会員	尾山 徳孝
日本研究皮膚科学会	評議員	尾山 徳孝
日本人類遺伝学会	一般会員	尾山 徳孝
日本皮膚免疫アレルギー学会	一般会員	尾山 徳孝
国際食品機能学会	一般会員	尾山 徳孝
日本臨床皮膚科学会	一般会員	尾山 徳孝
日本乾癬学会	一般会員	尾山 徳孝
日本アレルギー学会	一般会員	尾山 徳孝
日本光医学・光生物学会	一般会員	尾山 徳孝
日本ペーチェット病学会	一般会員	尾山 徳孝
日本小児皮膚科学会	一般会員	尾山 徳孝
日本皮膚科学会	一般会員	飯野 志郎
日本皮膚外科学会	評議員	飯野 志郎
日本悪性腫瘍学会	一般会員	飯野 志郎
日本皮膚病理組織学会	一般会員	飯野 志郎
日本研究皮膚科学会	一般会員	知野 剛直
日本皮膚悪性腫瘍学会	一般会員	知野 剛直
日本免疫学会	一般会員	知野 剛直
日本臨床免疫学会	一般会員	知野 剛直
日本人類遺伝学会	一般会員	知野 剛直
日本乾癬学会	一般会員	知野 剛直
日本皮膚科学会	一般会員	馬場 夏希
日本皮膚外科学会	一般会員	馬場 夏希
日本皮膚悪性腫瘍学会	一般会員	馬場 夏希

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
招待・特別講演等	Lupus Erythematosus Expert Seminar	長谷川 稔
招待・特別講演等	SAPHNERO Anniversary Symposium in FUKUI	長谷川 稔
招待・特別講演等	福井県皮膚科医学会学術講演会	長谷川 稔

業績一覧

招待・特別講演等	ファブリー病 学術講演会 in 福井	長谷川 稔
招待・特別講演等	皮膚の痒みの研究会 in 福井	長谷川 稔
招待・特別講演等	福井皮膚疾患・創傷治療研究会	長谷川 稔
招待・特別講演等	Fukui Dermatology セミナー	長谷川 稔
招待・特別講演等	福井皮膚悪性腫瘍研究会2021	長谷川 稔
招待・特別講演等	The 15th Dermatology up to date in Fukui	長谷川 稔
招待・特別講演等	JAK Atopic Dermatitis	長谷川 稔
招待・特別講演等	Meet the Expert	長谷川 稔
招待・特別講演等	ATOPIC DERMATITIS EXPERT MEETING IN 福井	長谷川 稔
招待・特別講演等	Lilly Dermatology multi-Seminar	長谷川 稔
招待・特別講演等	Lilly JAK Online Seminar	長谷川 稔
招待・特別講演等	Sun Derma Seminar in 福井	長谷川 稔
招待・特別講演等	皮膚科医のための血管イメージングセミナー	長谷川 稔
招待・特別講演等	第2回Fukui Dermatology Seminar	長谷川 稔
招待・特別講演等	Rituxan SSc	長谷川 稔
招待・特別講演等	福井県アトピー性皮膚炎講演会	長谷川 稔
招待・特別講演等	FUKUI Dermatology Seminar	長谷川 稔
招待・特別講演等	功がげ 15%発売記念VVE B講演会 in Fukui	長谷川 稔
一般講演	第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会	長谷川 稔
一般講演	TAIHO Web Lecture on Dermatology	長谷川 稔
一般講演	第36回日本乾癬学会学術大会	長谷川 稔
一般講演	福井膠原病研究会	長谷川 稔
シンポジウム等	第85回日本皮膚科学会東京支部学術大会	長谷川 稔
シンポジウム等	第51回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会	長谷川 稔
シンポジウム等	第37回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会	長谷川 稔
その他	第73回日本皮膚科学会西部支部学術大会	長谷川 稔
その他	出前授業 in 福井県 アレルギー疾患に関するベーシックとアドバンス」全6回	尾山 徳孝
招待・特別講演等	Lilly PsA Online Seminar	尾山 徳孝
招待・特別講演等	北陸 ATOPIC DERMATITIS EXPERT MEETING	尾山 徳孝
招待・特別講演等	TAIHO Web seminar on Psoriasis	尾山 徳孝
一般講演(口演)	日本皮膚科学会北陸地方会第470回例会	尾山 徳孝
一般講演(口演)	日本皮膚科学会北陸地方会第472回例会	尾山 徳孝
一般講演(口演)	日本アレルギー学会北陸支部第3回地方会	尾山 徳孝
招待・特別講演等	Dermatologist meeting～皮膚腫瘍治療について考える～	飯野 志郎
一般講演	福井皮膚悪性腫瘍研究会2021	飯野 志郎
一般講演(口演)	日本皮膚科学会北陸地方会第473回例会	飯野 志郎

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員の別	氏名	査読編数
J Dermatol	編集	委員	長谷川 稔	
J Cutan Immunol Allergy	査読		長谷川 稔	1
J Rheumatol	査読		長谷川 稔	1
Arthritis Res Ther	査読		長谷川 稔	1
Front Immunol	査読		長谷川 稔	3
J Eur Acad Dermatol Venereol	査読		長谷川 稔	2
J Dermatol Sci	査読		長谷川 稔	1
Modern Rheumatol	査読		長谷川 稔	1
Case Rep Dermatol	査読		長谷川 稔	1
Rheumatology	査読		長谷川 稔	1
Dermatol Clinics Res	査読		長谷川 稔	1
Exp Dermatol	査読		長谷川 稔	1
J Invest Dermatol	査読		長谷川 稔	1
J Dermatol	査読		長谷川 稔	11
Scleroderma Related Disorders	査読		長谷川 稔	1
Exp Dermatol	査読		長谷川 稔	1
Eur J Clin Invest	査読		長谷川 稔	1
月間皮膚科	編集	委員	長谷川 稔	

業績一覧

Frontiers Immunology	編集	委員	長谷川 稔	
Dermatol Online J	査読		尾山 徳孝	2
Allergol Int	査読		尾山 徳孝	1
J Cutan Immunol Allergy	査読		尾山 徳孝	3
J Eur Acad Dermatol Venereol	査読		尾山 徳孝	1
JAMA Dermatol	査読		尾山 徳孝	1
J Dermatol Sci	査読		尾山 徳孝	1
Eur J Dermatol	査読		尾山 徳孝	1
Sarcoid Vas Dif Lung Dis	査読		尾山 徳孝	2
J Dermatol	査読		尾山 徳孝	8

(E) その他